

2021(令和3)年2月1日 報道発表資料
[本リリース発信元] ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

【1週間限定の無料配信が決定】

KYOTO PARK STAGE 2020/OKAZAKI PARK STAGE 2020

空間現代×三重野龍「ZOU」映像配信



このたび2020年10月に開催しました、KYOTO PARK STAGE 2020/OKAZAKI PARK STAGE 2020 空間現代×三重野龍「ZOU」映像配信の無料配信(1週間限定)が決定いたしました。

本作は昨年10月にローム・スクエア(劇場中庭)で上演予定でしたが、天候状況に伴いノースホールで開催したものです。京都拠点の注目すべき若手アーティスト二組の初のコラボレーションとして高い注目を集め、当日は悪天候のなか会場定員を超える数百名の方にお越しいただきましたが、やむなく入場制限を行い、限られた観客の方のみが目撃した貴重なライブです。このたび、当日のパフォーマンスを収録、編集したものを1週間限定で無料配信します。

このコラボレーションを通じ、編集・複製・反復・エラー的な発想で制作された楽曲を演奏する話題のスリーピースバンド「空間現代」と、唯一無二の線や形を特徴としたタイポグラフィックスを中心に関西のデザイン、アートワークシーンで独特な存在感を放つグラフィックデザイナー、三重野龍がロームシアター京都ではじめて邂逅しました。空間現代の最新長編楽曲「象」に三重野のグラフィックを生成、併置、交錯させて再構成しています。

報道関係の皆様におかれましては、何卒ご注目、情報掲載にご協力のほどお願い申し上げます。

<配信概要>

KYOTO PARK STAGE 2020/OKAZAKI PARK STAGE 2020 空間現代×三重野龍「ZOU」映像配信

配信日時：2021年2月7日(日)10:00～14日(日)23:59【日本時間】

配信場所：ロームシアター京都公式 YouTube チャンネル(無料配信)

https://www.youtube.com/channel/UC17J354cZsjO_0QOta8sAZw

[本リリースに関するお問合せ先]

ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当:松本、長野
電話:075-771-6051(9:00～17:00) FAX:075-746-3366 E-mail:press@rohmtheatrekkyoto.jp

クレジット

出演：空間現代 グラフィック：三重野龍

グラフィックサポート：Takuma Nakata 音響：西川文章 照明：藤原康弘 舞台監督：夏目雅也

制作：松本花音（ロームシアター京都）

記録映像撮影・編集：片山達貴 撮影協力：顧剣亨

企画製作：ロームシアター京都

空間現代×三重野龍「ZOU」開催概要

開催日時：2020年10月17日（土）20:00

会場：ロームシアター京都 ノースホール（雨天のため会場変更して実施）

主催：文化庁、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会、ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市 文化庁令和2年度戦略的芸術文化創造推進事業「JAPAN LIVE YELL project」

▶ロームシアター京都 YouTube チャンネルにて10月3日に開催した「OKAZAKI PARK STAGE 2020 ニュー・ブランシュ KYOTO 2020 関連イベント スペシャルライブ&映像上映」のダイジェスト映像も公開しています。併せてご覧ください。

プロフィール

空間現代 Kukangendai

2006年、野口順哉(Gt,Vo)、古谷野慶輔(Ba)、山田英晶(Dr)の3人によって結成。編集・複製・反復・エラー的な発想で制作された楽曲をスリーピースバンドの形態で演奏。これによるねじれ、負荷がもたらすユーモラスかつストイックなライブパフォーマンスを特徴とする。

2016年9月、活動の場を東京から京都へ移し、自身の制作および公演の拠点としてライブハウス「外」を左京区・錦林車庫前に開場。新たな試みとして、60分のライブ作品の制作を開始。これまでに『擦過』（2016）、

『オルガン』（2017）、『象』（2020）を発表。地点、Moe and ghosts、飴屋法水、吉増剛造、contact Gonzo など、先鋭的なアーティスト達とのジャンルを超えた作品制作も積極的に行う。

2019年度、京都市芸術文化特別奨励者。



(C) 細倉真弓

三重野龍 Ryu Mieno

1988年兵庫県生まれ。2011年京都精華大学グラフィックデザインコース卒業。大学卒業後、京都にてフリーのグラフィックデザイナーとして活動開始。美術や舞台作品の広報物デザインを中心に、ロゴやグッズなど、文字を軸にしたグラフィック制作を実践。主な展示に個展「GRAPHIC WEST8: 三重野龍 大全 2011-2019 「屁理屈」」@京都 ddd ギャラリー、2019年。



[本リリースに関するお問合せ先]

ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当:松本、長野
電話:075-771-6051(9:00~17:00) FAX:075-746-3366 E-mail:press@rohmtheatrekkyoto.jp